

公募プロジェクト  
「あしたの郊外 -Post Suburbia-」 始動！  
10/20 キックオフ・シンポジウム開催

明日、私たちは  
郊外に  
住むのだろうか。

BABA Masataka 馬場正尊  
IKEDA Osamu 池田修  
KUMAKURA Sumiko 熊倉純子  
KRIS Yoshie 栗栖良依  
ME 目  
MORI Tsukasa 森司

あしたの郊外  
post suburbia

取手アートプロジェクト × OpenA  
共同プロジェクト

プラン募集

2014年10月20日(月)

2015年1月31日(土)

キックオフ・シンポジウム  
+ 公募受付開始

公募締切

主催：特定非営利活動法人 取手アートプロジェクトオフィス / 株式会社 OpenA  
協力：ダンチ・イノベーターズ(チーム) / DOG - 建築塾(主催者) / 取手市 / 株式会社新六本店 / 関東鉄道株式会社 / 取手市建設局  
共催：アーストブレッシング / 戸田建設株式会社 / 戸田和会 / 株式会社法人都市再生機構(日本建築住宅本部)  
協賛：東日本ガス株式会社 / 株式会社安井建築設計事務所 / 取手ロータリークラブ  
国土交通省 平成 26 年度住宅用地型既存住宅流通促進モデル事業

TORIDE ART PROJECT Open A

取手アートプロジェクトのあらたな取り組みとして  
「あしたの郊外 -Post Suburbia-」 がはじまります。

東京R不動産を展開する株式会社オープン・エーとの共同事業です。  
国土交通省の住宅団地型既存住宅流通促進モデル事業に採択された本プロジェクト。

まずはプロジェクトのキックオフイベントとして、シンポジウムと公募を開催します。

事前告知・当日ご取材のご協力、どうぞよろしくお願いたします！

本件に関するご質問はお気軽に！取手アートプロジェクト実施本部 (NPO法人 取手アートプロジェクトオフィス)  
〒302-0024 茨城県取手市新町 2-5-5 ARTOSかも2F Tel・Fax: 0297-72-0177 / 担当携帯 090-7272-0021  
Email: [tap-info@toride-ap.gr.jp](mailto:tap-info@toride-ap.gr.jp) Web: <http://www.toride-ap.gr.jp/> (担当：羽原・中嶋)

## 「あしたの郊外 -Post Suburbia-」プロジェクト

本プロジェクトは、郊外都市・取手を舞台に始動する、次の「郊外での生き方」を提案するプロジェクトです。

高度経済成長期の住宅需要を支え、ベッドタウンとして発展した郊外。

均質な風景、第1世代の高齢化に従い維持が難しくなりつつある地域コミュニティ、都市への回帰傾向。

これから加速する人口減少を前に、機能不全に陥って淘汰されていく郊外の拡大が想像に難くない中、本プロジェクトは「新たな郊外での面白い暮らし方」を引き出し、提案していくことにより、郊外の次の段階のあり方を探り、ひとつのモデルをつくりあげることを目指しています。

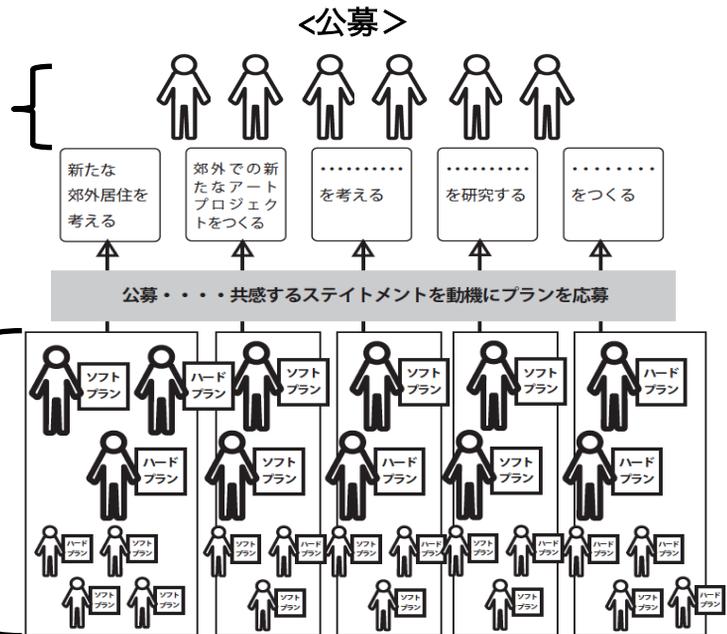
本事業は、下記の要素により構成されています。

＜あしたの郊外＞を考える「郊外を考える人」

- ・それぞれ専門分野を活かしクリエイティブな実践を行うメンバー。
- ・プロジェクトの核となるテーマを継続して考え、発信する
- ・プラン公募の求心力として位置づける。

アーティストからのプラン公募

- ・「郊外を考える人」から発信されたステートメントに回答する形で、郊外の中古住宅に対するソフト・ハード双方のプラン提案を行う。



プロジェクトウェブサイト「あしたの郊外」

- ・そして公募により集ってくるアイデアを紹介するウェブサイト。集まるプランは、基本的に全て公開。
- ・「郊外を考える人」からのコメントがつき、ウェブサイト上で議論が行われることも。
- ・「郊外を考える人」と「アーティスト/クリエイター」が一緒に郊外を考える「推薦プラン即売会」（2015年2月下旬）も実施。



プロジェクトサイト  
「あしたの郊外」  
ashitanokougai.com

物件マッチングサイト「取手アート不動産」

- ・取手市内にある空き家を紹介するウェブサイト。
- ・「あしたの郊外」で集ったアイデア、空き家、住み手のマッチングを行う。
- ・公募で集ったプランは、マッチングが成立する（＝買い手が見つくと）実行される。



物件マッチングサイト  
「取手アート不動産」  
（10月下旬公開）

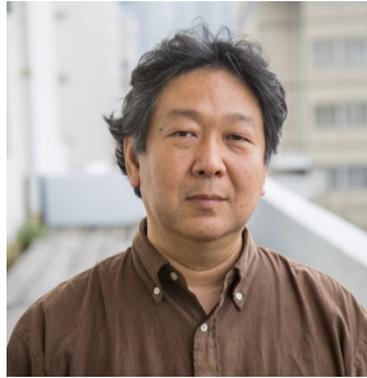
郊外を考える人

「あしたの郊外」プロジェクトのけん引役となる6組。  
シンポジウムではその場でそれぞれの考える「郊外での暮らし方」をステイトメント、またはプランという形で発表します。  
そのプラン・ステイトメントが求心力となり、アイデアが集るこのプロジェクト。その後も、クリエイター・アーティストから出てくるプランに対してウェブ/リアルな場で公評を行っていきます。



**馬場正尊 ばばまさたか**  
株式会社OpenA代表・建築家

1968年佐賀県生まれ。1994年早稲田大学大学院建築学科修了。博報堂、早稲田大学博士課程、雑誌『A』編集長を経て、2002年Open A を設立。都市の空地を発見するサイト「東京R不動産」を運営。東京のイーストサイド、日本橋や神田の空きビルを時限的にギャラリーにするイベント、CET(Central East Tokyo)のディレクターなども務め、建築設計を基軸にしなが、メディアや不動産などを横断しながら活動している。



**池田修 いけだおさむ**  
BankART1929代表  
PHスタジオ代表

都市に棲むことをテーマに美術と建築を横断するチームPHスタジオを発足。美術館での展覧会、屋外での美術プロジェクト、建築設計等、活動は多岐にわたる。1986~1991年ヒルサイドギャラリーディレクター。2004年からBankART1929の立ち上げと運営に携わり、数々の企画展やアートプロジェクト、アーティスト支援、出版等を行なってきた。大学や行政機関、街づくり、アート関係での講演・シンポジウム参加も多い。



**目**  
現代芸術活動チーム

アーティスト荒神明香、wah document によって組織された現代芸術活動チーム。  
2012年より活動を開始。鑑賞者の「目」を道連れに、未だみぬ世界の果てへ直感的に意識を構想する。  
2013年に瀬戸内国際芸術祭「迷路のまち〜変幻自在の路地空間〜」、2014年資生堂ギャラリーにて「たよらない現実、この世界の在りか」展。



**栗栖良依 くりすよしえ**  
スローレーベル ディレクター

イタリアのドムスアカデミーにてビジネスデザイン修士号取得後、東京とミラノを拠点に世界各国を旅しながら、さまざまな業種の専門家や企業、地域コミュニティを繋ぎ、商品やイベント、市民参加型エンターテイメント作品をプロデュースする。2010年、右脚に骨肉腫を発病し休業。翌年、右脚に障害を抱えながら社会復帰を果たし、横浜ランデヴープロジェクトのディレクターに就任し、スローレーベル設立。ヨコハマ・パトラトリエンナーレ総合ディレクター。



**熊倉純子 くまくらすみこ**  
東京芸術大学音楽環境創造科教授  
取手アートプロジェクト実施本部長

(社)企業メセナ協議会事務局勤務を経て2002年より東京芸術大学音楽環境創造科にて教鞭をとる。取手アートプロジェクト(茨城県)、アートアクセスあだち-音まち千住の縁(東京都)など、地域型アートプロジェクトに携わりながら、アートマネジメントと市民社会の関係を模索し、文化政策を提案する。著書に「社会とアートのえんむすび1996-2000——つなぎ手たちの実践」、「アートプロジェクト—芸術と共創する社会」など。



**森司**  
東京アートポイント計画ディレクター  
取手アートプロジェクト実施副本部長

1960年愛知県生まれ。公益財団法人東京都歴史文化財団 東京文化発信プロジェクト室 地域文化交流推進担当課長。水戸芸術館現代美術センター主任学芸員を経て、東京アートポイント計画の立ち上げから関わり、ディレクターとしてNPO等と協働したアートプロジェクトの企画運営、人材育成プログラムを手がける。2012年7月より「Art Support Tohoku-Tokyo (東京都による芸術文化を活用する被災地支援事業)」のディレクターも務める。

## 「あしたの郊外 -Post Suburbia-」プラン実現までのプロセス

本プロジェクトは、公募されたプランに物件と住まい手がマッチングされることで実現していく新たな形のアートプロジェクトです。展覧会型でもテンポラリーでもない、日常の中での芸術表現の在り方、郊外での創造性ある新たな暮らし方をつくります。



▶プロジェクト第1号物件がすでに動いています！

まずは「東京R不動産」にて入居者を募集。  
普通の郊外の家が、あらたな使いかたに変わる準備が  
着々と進んでいます！

「この家で、どう暮らそう？取手アート不動産第1号物件情報」

<http://www.toride-ap.gr.jp/news/?p=1718>

※入居者が決定したため、現在物件情報は掲載しておりません。

## 「あしたの郊外 -Post Suburbia-」キックオフ・シンポジウム

### <開催概要>

日時：2014年10月20日（月） 19:30-21:30（開場：19:15）

会場：BankART StudioNYK NYKホール

（定員100名・事前申込制）

参加費：500円

※BankART LIFE4パスポートをお持ちの方は無料

本プロジェクトのスタートの日となる、本シンポジウムでは「郊外を考える人」たちがさまざまな視点から妄想する「あしたの郊外」を議論します。メンバーによる郊外プラン発表もあり、本シンポジウムはまるごとこのプロジェクトのステイトメントを体現するものになります。対象は新しい郊外の風景を見たい人、自らの発想・妄想を郊外に投じて、新たな生き方を探る人ならどなたでも参加できます。

### ----- タイムテーブル -----

- 19:30 シンポジウムスタート  
「あしたの郊外 -Post Suburbia-」プロジェクトのご紹介
- 19:40 郊外を考える人による  
「明日、郊外で暮らす」プラン/ステイトメント発表
- 20:10 クロストーク
- 21:00 公募説明・質疑応答

## 「あしたの郊外」プロジェクト 今後のスケジュール

2014

### 「キックオフ・シンポジウム」開催

10/20

- ・プロジェクト全容紹介+公募説明
- ・「郊外を考える人」による“郊外の暮らし方”プラン公開+クロストーク

### 公募スタート

- ・「郊外の家」で暮らすアイデアをクリエイター/アーティストから募集します。
- ・シンポジウムにて詳細説明

### 物件紹介サイト「取手アート不動産」公開

- ・「あしたの郊外」プロジェクトで集ってきた<アイデア>と、取手にある<空き家>、そしてこれから取手で暮らす<住み手>をマッチングする物件紹介サイトをスタートします。

### 公募プランウェブ公開

- ・クリエイター・アーティストから集るアイデアは、随時ウェブサイト上で公開。暮らし方を妄想する種として見るすることができます。

### オープンハウス

11/1

12/7

- ・アイデアを出すクリエイター・アーティスト、または住まい手に対して「取手アート不動産」で紹介している空き家を実際にみる事ができる日。自転車で取手市内のアートポイントも回る事ができます。

### オンラインディスカッション

11/30

12/30

- ・「郊外を考える人」から、ウェブ上で公開されているアイデアに対して、賞賛・批判・疑問…など、さまざまな意見が送られます。SNSを利用して、ウェブサイトを見ている方々みんな、アイデアに対して議論をかわします。

### 郊外を考える人による「推薦プラン即売会」

2/下旬

(予定)

- ・公開されたプランの中から、郊外を考える人たちそれぞれが自身の推薦するプランを選定。オーナー、住み手、一般来場者衆目の中で推薦プレゼンを行います。その場で即決・落札されるプランもあるかも！

### プラン実現+実居住

随時

- ・物件紹介サイト「取手アート不動産」、「推薦プラン即売会」などで、実際にアイデア・空き家・住み手がつながった場合には、取手アートプロジェクト・OpenA・DOG一級建築士事務所の全面サポートにより、プランが実現。郊外都市・取手で、新たな生活がはじまります！

### 郊外における新たな暮らし方の事例増・社会発信

本プロジェクトご取材・記事掲載をご検討の方は  
取手アートプロジェクトまでお気軽にお問い合わせください。